

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 1月 24日 (18:30 ~20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲・奥原
・藤本・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	3人	1人	12人

前回の改善計画	ミーティングを現在よりも行うことができるよう、少人数でも集まってやるようにする。内容としても必要な情報交換を最大の目的とし、短い時間での効果的なミーティングを目指していく。就業前は記録を読み、必要な情報を自らが獲得をしていくこと。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングは時間を作ることが出来ないという結果になり管理者やケアマネ、看護師のみの職員で月に1度行い会議で周知している。必要な情報は個人によってタイムラグがあり初期支援の大切さの認識のズレが生じていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	8	4	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	1	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	5	3	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	3	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ミーティングが出来ていない中でも伝達事項、検討事項があれば出勤者で情報交換ができている。利用時の本人への声かけだけでなく、職員からの聞き取りや利用後の自宅での様子を家族から聞き取る等し、利用当初の不安を最小限にすることと必要な支援の見極めは意識して取り組んでいる。月に1度だが、管理者、ケアマネ、主任、看護師のミーティングを行うようになり会議で周知している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ミーティングの時間が設けられない為、特定の職員へは書面と口頭にて申し送りできているが一同に介す場面がない為、同じことを伝えるなど効率が悪い。職員の力量による利用者への配慮の差も大きい。業務時間内での研修が不可能に近い為、業務外となると負担増になっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新規利用者に関しては、申し送りに参加出来ない場合、必ず利用前に事前のフェイスシートや手順書の回覧に目を通し、情報収集を自ら行っていく。必要な情報などは記録に記載をし、業務前に記録や申し送りノートに目を通し情報を入れてから業務に入る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 1月 24日 (18:30 ~20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲・奥原
・藤本・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	10人	0人	12人

前回の改善計画	本人の目標を把握して、理解した上でサービス提供する為に改めてライフサポートプランの目的や考え方について、会議の中や内部研修として扱い学びを深める。 目標に沿った具体的な活動、実行計画を話し合う時間や機会を意図的に作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	目指す事業所の姿が抽象的でもある為、支援方法などうまく検討に乗ることができなかったと感じる。内部研修に関しても短い時間での実施にはなってしまうが、学ぶ機会は前年より増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	2	6	3	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	7	1	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	5	2	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	5	5	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
在宅で過ごしたいという思いは個々によって違うが概ね理解している。訪問サービスは1対1である為、心の中を明かすことができる利用者が多い。「～したい」にはどんな理由があり、どう自己実現に繋がっているのか誰がどのように支援していくのかチームへ働きかけ確認はしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
一人一人の目標が頭に入っていない。個々の目標に沿った活動や実行計画を話し合う時間が月に1度の会議では難しい。職員間でもうまく連携が取れていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自己実現への支援の為には利用者の目標を把握し、実現していく為に日々の口頭での情報共有、必要であれば少人数でもミーティングを開くことが出来る。ライフサポートプランについて学ぶ機会を作り共通理解を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 1月 24日 (18:30 ~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲・奥原
・藤本・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	1人	0人	12人

前回の改善計画	日々のケアについて振り返ることも大事だが、暮らしを知るという面からどんな支援が必要なのか、これからの暮らしを継続する為に何を大事にしていくのか、各々の利用者の暮らしについてミーティングや会議で話し合いができる時間を作っていくと同時に記録からも状況が読み取れるように介護記録には目を通すこと。
前回の改善計画に対する取組み結果	記録も読めていないことが多く知らなかったということを知ることが多かった。会議での話し合いも消極的で発言が出来ない職員も少なくなかったようだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	5	4	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	6	1	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	4	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	8	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 体調変化による支援内容の変更は迅速に行えている。 会議等で出た他職種からの視点も踏まえ、モニタリング等を通して自宅での生活環境も確認するように心がけ支援に繋げている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ミーティングが開けていない為、本人の想いや気持ちが月1度の会議まで持ち越されてしまうことがある。 基本的な介護技術の個人差が大きい。利用者の状況に合わせた介護の判断という点に課題。 以前の暮らし方がほとんど分かっていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) その利用者ならではの固有の情報が共有できるよう日々の関わりから記録に載せることができる。またその情報を基に変化にも気づくことができ、支援していくことができる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 1月 24日 (18:30 ~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲・奥原
・藤本・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	4人	0人	12人

前回の改善計画

「コロナ禍だから・・・」と全て理由にしてしまうのではなく、利用者の生活と密接な地域に目を向け、不足部分が補えるような支援を目指していく。本人の生活スタイル、関係性など分かろうとする姿勢を大事に、本人の活動や参加、スタッフが地域のために出来ることをしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域での生活というのがハードルが高く特に現場職員はクエッションになってしまっていた。情報収集という面では個人で留まったり、収集力が足りないところがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	5	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	3	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	5	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	8	2	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・コロナが終息を迎え、よりみちでのイベントが軌道に乗り、利用者への参加は促している。
 包括への個別相談を通じて、他制度(安心ネット登録、安心カルテ登録等)の活用提案をもらい、本人が地域で継続して暮らせるようなネットワーク作りが少しずつ行えている利用者もいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 サービスが入らない時間帯の過ごし方について、正直なところ分からない。
 梓川はともかく、他の地域に住んでいる利用者の社会資源は専ら不明。
 現場職員は地域に目を向けられていない。機会がない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 フェイスシートやケアプランをもう一度目を通し、日頃の関りから生活スタイルや人間関係、地域での役割や生きがいを理解していくことに努める。知り得た情報は共有し、次に活かせるよう記録に残すことや会議の場で伝える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 1月 24日 (18:30 ~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲・奥原・藤本・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	7人	0人	12人

前回の改善計画
 本人のストレンクス（強み）をミーティングや会議で確認し合い可能性を広げていく。
 連絡会による小規模多機能に研修会の案内も定期的にあるので、小規模多機能の理解をスタッフで深めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 長野県宅老所グループホーム連絡会への研修参加は現場職員も何名か出ることができた。本人の強みを活かす支援が生活の延長線（洗濯、調理等）のものが多く話し合う場もないこともあり出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	3	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	11	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	0	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 本人の変化には敏感に反応でき、疑問に思ったことは職員間で報告、相談できている。
 事業所都合でサービスを合わせることは殆どない。本人の強みをさんぽみちでも活かせるような工夫はしている。
 緊急時の対応はある程度出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 利用者の悪い方の変化に目が行きがちである。
 地域の資源を使って支援をするという意識が職員の中で薄く自前サービスだけで支援しようとしている。
 職員の体制上急な宿泊に対応が出来るときと出来ないときがある。
 本人の強みについて皆で話し合う機会がない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 「よい変化」または強みに着目出来るよう日々の様子を記録に載せ、会議でも共有することができ、更に本人の役割や生きがいと思えるような支え方ができる。
 梓川地区の回覧には目を通し資源を知る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 1月 24日 (18:30 ~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲・奥原
・藤本・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	0人	12人

前回の改善計画	<p>コロナ状況を踏まえ地域の方のボランティアや相談事は積極的に受けていく。また、事業所が地域に出掛けるような機会があれば能動的にさんぼみちを知ってもらえる取り組みをしていく。地域の方が気兼ねなく来ることが出来るよう、日頃からの地域の方への挨拶、付き合いを大事にする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>地域の方はさんぼみちというよりよりみちが目的である為さんぼみちのことは恐らくさほど理解されていない。ケアマネージャーの方で包括、民生委員、町会長など連携を図り支援に繋がった事例あり。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5	3	4	0	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	2	4	4	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	0	5	4	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	5	5	2	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>よりみちが徐々に軌道に乗ってきている為、さんぼみちを訪れる方が多くなり知ってもらえることが増えた。主に民生委員を通じて住民の困りごと相談を受け必要な機関へ繋げることを継続して出来ている。地域のボランティアの方々が畑の手伝い草取りなど定期的に訪れてきてくれる。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>外部とのやりとりは管理者、ケアマネ任せになってしまい現場職員が関わることがない。よりみちでのイベントも現場職員が関わることがない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>事業所が地域で活動できるよう、町会長や民生委員、地域包括とは密に連携を図っていく。地域の方が気兼ねなく事業所に来ることが出来るよう日頃から地域の方への挨拶、付き合いを大事にする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 1月 24日 (18:30 ~20:00)

7. 運営

メンバー 森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲・奥原
・藤本・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	5人	0人	12人

前回の改善計画	運営推進会議 (特に集合開催) の議事録は職員へ回覧をし、一人一人地域の課題や困りごと、資源などの理解に努めていく。地域の方が気兼ねなく来ることが出来るよう、日頃からの地域の方への挨拶、付き合いを大事にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議では地域の困りごとの議論が増えた。会議録の回覧をし、地域の課題は把握してもらっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	3	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	5	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	2	2	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	5	3	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
運営推進会議では町会長や民生委員より地域の状況や困りごとが意見として少しずつではあるが挙がってきている。体操やふれ健等でよりみちを活用してもらったりと地域の方が少しずつ足を運んできている。苦情も出ているがしっかり対策を講じている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の方とは挨拶をするもの話しをしたりするなどコミュニケーションを取ることはない。地域の困りごとに関して一緒に考える機会がなかった。事業所の事業計画や運営方針について職員一人ひとりが意識して行動出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
会議では声を出して運営方針を読み上げ意識付けをする。地域に開かれた運営を目指す為にさんぽみち会議で運営推進会議で挙げた議題についても検討するようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 1月 24日 (18:30 ~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲・奥原・藤本・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	2人	12人

前回の改善計画	外部研修は1人1回参加が出来るようにどんな内容の研修希望があるかを聞き、反映させる。サービスの質の標準化を図ることを目的に内部研修を現在より充実させるよう計画を立てる。(介護技術、認知症、小規模多機能等重点に)
前回の改善計画に対する取組み結果	内部研修は時間、準備の都合もあり充実までは行かず。外部研修について希望者は参加出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	3	5	2	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	0	7	3	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	4	7	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	5	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ヒヤリハット件数が昨度より増加。重大事故に関しては予防策を全員で講じている。内部研修は必要に応じて組むことができ、外部研修に関しては案内を回覧し希望あれば出来る限り参加してもらっている。職員に応じて参加してほしいものは管理者から斡旋している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ヒヤリハットは増えているものの、重大事故発生に至るまでの要因があることがあり、ヒヤリハットで挙げるべき事項が挙がっていないことがある。質の向上の取組みとしてOJTがうまく働いていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 職場内研修(法人内研修も含む)は計画的に予定を組み実施し、質の向上に取り組む。重大事故を出来る限り防ぐ為、ヒヤリハットを挙げるように職員に働きかけ、挙がったヒヤリハットを職員内で周知し、再発防止に取り組んでいく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 1月 24日 (18:30 ~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲・奥原
・藤本・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	5人	0人	0人	12人

前回の改善計画	<p>トイレへの声かけはその方の尊厳、羞恥心に大きく関わる為、場所、タイミング、声のトーンに配慮をして誘うようにする。 個人情報に関わるようなもの、特に訪問手順書については利用者の目につかないような場所に置くようにし、互いが意識をもつことを徹底していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>タイムスケジュールや手順書など利用者名や個人情報が入っている物の扱いが時に目についてしまう場所に置いてあるなど度々あった。 成年後見制度は一切触れていないという結果。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	0	0	0	12
②	虐待は行われていない	12	0	0	0	12
③	プライバシーが守られている	7	6	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	2	2	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	8	4	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>前年度は個人情報が書かれているものが他人の目につく場所に置いてある等課題だったが、今年度は職員の意識も高まった為か少なくなった。 身体拘束や虐待については定期的な内部研修を行い、不適切ケアが何かということを中心に伝えるようにし虐待に至る芽を摘むことを意識して行っている</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用者のそばで他利用者の話しをしたりする場面がある。 成年後見制度の意味がそもそも分からない。 トイレの声かけの大声、使用中と札がなっているのに開けてしまう等。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者について話しをするときは利用者の前や後ろで話しをするのではなく、ステーションで話すなど場所を弁えること。トイレの介助や誘導をするときは使用中の札の確認、ロックをする、ドアの開け閉めに注意を払いプライバシーを守ること。</p>	